



吉崎別院便り

バラバラでいっしょ！

になれるところ

第345回蓮如上人御影道中 御下向教導・供奉人が京都へ出発！



上段左から、橋爪昭人氏、小林治樹氏、豊富高宏氏
下段左から、多田益子氏、國分大慶隨行教導、宮地幹夫
宰領、荒井健治氏

～仏具のおみがき～
15日、吉崎別院に御縁深い御同行10名が、おみがきに汗を流しました。今年で2回目の参加となる加藤邦博さん（あわら市）は、「定年まではこんなこと思わなかったけれど、最近は仏様をもっと大切にしなければなあと思わされる。自宅のお内仏もおみがきします。」と心境を語ってくださいました。



出発式の様子

「木の芽峠、残雪深く」
毎年4月21日に越える木の芽峠は、今冬の豪雪の影響で一部の区間は危険が伴うと判断され、福井県側の進路変更を余儀なくされます。道中一部区間代替進路となりますが、予定通りの会所を経て吉崎を目指します。

4月16日朝、蓮如上人御影道中・御下向（東本願寺く吉崎別院）の中心を担う隨行教導と供奉人が東本願寺へ向けて吉崎別院を出発しました。一同は、15日に吉崎別院に集合し、道中の日程と安全を確認する「出発式」を行い最終的な準備を済ませました。緊張感が漂う出発式の中で、宮地幹夫宰領（福井県・南越前町）は、「年齢と共に体力の自信がなくなってきたが、皆さんとはここ数年供奉人として共に歩んできた方々ばかりなので、助けたい。道中を迎え待つたくさんの方々との出会いを大切にすることを決意を語っていました。なお、御下向は17日13時30分に東本願寺を出発し、23日19時30分頃吉崎別院に到着します。

「念仏の一道」、他者と出遇い、自分に出遇う